

NUTEC

写真：和田清志 photos by Wada Kiyoshi



1 | これまでのニューテックオイルと基本構成である100%化学合成オイル+コンプレックスエステルは変わらないが、コンプレックスエステルの添加量を30%アップしてより高性能化を図った新インターセプターシリーズ(LW-01、LW-02)。違う粘度の両者をブレンドして、エンジンにあったオイル粘度をつくることができるようになった。2 | E46M3CSLには、LW-01とLW-02の割合は7:3でブレンドした。3 | 同じM3乗りとして、ニューテックのオイルを使って、いかにエンジンレスポンスが変化したか、率直な意見を聞かせて頂いた。4 | E30M3には、LW-01とLW-02の割合は4:6でブレンドしたものを入れた。

究極のエンジンには究極のオイル これが基本

どんなインプレより、現オーナーの生の声が説得力があるだろう。今回、E46M3CSLとE30M3という新旧のM3のオーナーで、ニューテックのオイルを実



伏見 徹氏
 E46M3からCSLに乗り換えた伏見氏。ほかにもE90 530i、E46 330iなどにもニューテックを使用。

際に使用している方にその生の声を聞いてみる機会を得た。

伏見氏はE46M3に1年ほど乗り、CSLの発売に合わせて乗り換えた人物。以前はフェラーリなどにも乗っていたこともあり、このときもオイルはニューテックを指定していたそうだ。一方、E30M3のオーナー秋山氏は新車当時からE30M3に乗り、E36M3→ボルシェ→E46M3という経歴の持ち主。ともにクルマを運転することが好きな人達だ。

ニューテックのオイルを使うふたりに共通した意見は、Mエンジンのレスポンスの良さを活かせる、素晴らしいオイルだということ。これほどフリクションが少なく、滑らかな回転フィールを維持できるオイルには他にないということだ。これ

は、ニューテックのオイルが油膜切れを起こしにくく、高回転で回して楽しむM3のエンジンでも十分に対応できるからにはかならない。Mエンジンは圧縮比も高く、ノーマルのエンジンより過酷な条件での使用が想定されるだけに、オイルに求められる品質も、ノーマル系エンジンよりさらに高いレベルなのだ。

では何が違うのか。ニューテックのオイルは超微粒子の100%化学合成オイルにコンプレックスエステルをベースオイルとしたものである。このエステルというのは、金属面に吸着するという特性を持っており、その特性によってたとえ低い粘度であっても、摩擦を低減するからである。その特性ゆえ、圧縮漏れや吸入圧力上昇が期待でき、エンジンの摺



秋山 良介氏
 普段の足にはニューミニを使用。E30M3以外のニューミニやE46M3にもニューテックを愛用。

動がスムーズになるのだ。

Mエンジンのような究極のエンジンを100%使い切るには、ニューテックのような究極のオイルを使う必要があるのだ。